

発行人：宮本ひでき



今できることを 今するのが私の仕事です。

職業 新見市議会議員
取次行政書士経歴 平成24年12月新見市役所退職
平成25年度4月新見市議会議員
(1期目)平成27年4月総務常任委員会副委員長
平成29年4月新見市議会議員 (2期目)
令和元年5月総務消防常任委員長
令和3年4月新見市議会議員 (3期目)
令和3年5月議会広報特別委員長
令和5年5月議会広報特別委員長
その他平成25年度4月新見市農業委員
平成30年4月新見高校 P T A 会長

商店街地にあります

今後の交通網の考えは

令和6年12月定例会

令和6年12月新見市議会定例会は、12月12日から1月10日までの30日間開催しました。2日目3番目の質問者として一般質問をしました。

問 市長の施政方針においては、地域交通の見直しを行い市民の皆様にとって利便性の高い公共交通の確立を目指とされ、公開討論会では市営バス・路線バス・ふれあいバス・乗り合いタクシーがありましたが、免許を返納した人たちはない声を聴いています。乗つていけば買い物や医療に行くのに不便だと

答 予約乗り合いタクシーを軸とした公共交通網の形成を目指し、令和8年度までに市街地以外の全域に乗り合いタクシーを導入することとしており市内の交通空白地の解消と市民の利便性の向上を図っています。さらに、市街地循環バス「ら・くるつと」や民間タクシーなどで、市街地を移動できるような交通体系を構築していくことで、待ち時間の短縮になります。現在、運行してある市街循環バス「ら・くるつと」は、約80分で上市と石蟹の間を循環しておりますが、「ら・くるつと」を増車することで、待ち時間の短縮につながると考えています。一方で増車の実現には課題があることから、さらなる利便性の向上を図るために、今後運行業者と課題の解決などを検討してまいりたいと考えています。

市内公共交通の形態についての考え方は！

交通網のスマート化について

本的な改革をしていくと述べられていますが、市長が選挙中に提案された、市内公共交通の形態を改めてお示しください。

にいみタイムズ

今できることがあります。
私の仕事を

発行 宮本英基
新見市高尾1958番地7
0867-72-7671
090-9733-7671
info@miyamotohideki.jp



miyamotohideki.jp



友だち募集中！



YouTube



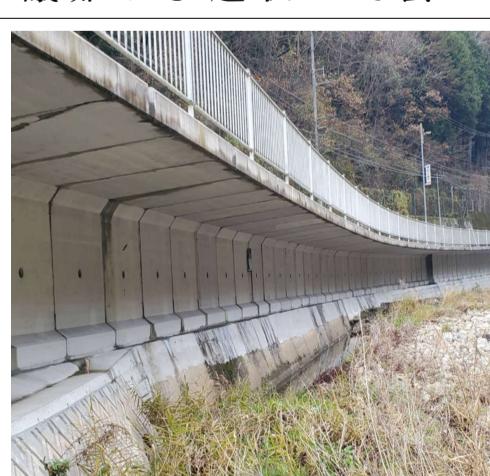
問 新見駅前から大学までの道路改良の考えは

市長は新見公立大学を中心として、福祉の充実を図っていく、そして新見公立大学の防災拠点にして新見公立大学の防災拠点に向けて進めていくとあります。までは、学生・市民が安心安全で通れる道の確保が必要ではないかと考えました。



答 新見駅から石灰会社までの区間にきましては、沿線に事業所や民家が立ち並んでいることから改良の考え方をお示しください。

現在、歩道は50センチ程度の状況で、現状においては、事故が起こる可能性が高いと感じます。また、ここから先大学までは、家が密集しており、なかなか改良は難しいと考えられます。市長は議員時代に一般質問をされておられます。改めて市長として、新見駅から新見公立大学までの道路改良について、懇に對して提案を希望を行っておりま



いました。今後改めて市長の立場から張り出し歩道を提案し、早期の整備改良を要望をしていきます。

参考

いました。今後改めて市長の立場から張り出し歩道を提案し、早期の整備改良を要望をしていきます。



問 一般県道上市井村西方線は、一般的の車両を始め「ら・くるつと」が通っている重要な路線です。また、上市・高尾地域にアパートもできたくさんの学生が通っている状況です。

新見公立大学から宗金（西方）までの道路改良の考えは

市内にはこのように、張り出しが歩道や道路もあります。新見駅前の道路は、市民や大学生の安全を確保する必要がある喫緊の課題だと考えますので、早期実現ができるよう強く求めておきます。



答 この区間は、山と川に挟まれおり、何箇所か人が通っていると車が追い越せない場所があります。この道は、市民や学生が安心・安全で通れる道にしないといけないと考えていました。そのためには、山を削るか河川に伸ばして道路の改良はできないのか、お考えをお示しください。

答 新見公立大学から宗金までの区間に着きましたは、全面改良が困難であることから、危険箇所の落石防護柵の設置や側溝の整備を行なうなど、部分的な改良により通行の安全確保に努めています。また、議員が提案された内容については、多くの課題があることから実現は難しいと考えます。しかししながら、当該区間は大学生が通学に利用していることから、通行の安全性向上に向け部分的な改良をしっかりと検討していくたいと考えております。

提案 私は現地を調査に行きました。道路と河川の間に約2メートルの土地があります。この部分を改良すれば、私はできると思いません。是非とも早期実現ができるよう求めておきます。



市内小売業の考えは

公設利用した売店ベースの確保の考え方

新見市の小売店数は、過去数十年にわたり減少傾向にあります。1997年には、約500店舗が存在しましたが、2014年には約300店舗に減少しています。2024年には、約200店舗と減少しています。この減少は、人口減少や高齢化、消費者の購買行動の変化などが影響していると考えられます。

答 新見市の人団は、2020年時点での28,777人で、2015年での30,658人から8.4%減少しています。また、2024年1月1日時点では、26,657人となり、さらに減少しています。

問 新見支局館内のうち、東部・南部において、食料品と日用品を取り扱っていない小売店をお示しください。

答 新見支局館内は、北部・東部・南部において、食料品と日用品を取り扱う小売店が存在しない地域につきましては、北部では馬塚地区・東部地区では下熊谷地区・南部では唐松・法曾・足見・豊永であると確認しています。

問 大佐支局を含め7地区に小売店がない。



答 衝撃的な数値をお示しいただきました。市長が目指すべき市の将来像について、持続可能なまちで、地域経済の活性化は欠かせないと言われてますが、私もその通りだと思います。毎日職員や市民の方が弁当や飲み物など買いに来て賑わっています。また、全国の各市町村でも、お店がなくなつた地域な

りだと考えます。この小売業が地域の環境や経済の活性化していくのに必要なものだと考えますが、市長のお考えをお示しください。

問 公共施設を利用した小売店スペースの確保について、支局などを取り扱う小売店舗数につきましては、市内商工団体に確認したところ加盟する会員の店舗のうち市外地域16店舗・北部地域2店舗・東部1店舗・南部地域3店舗・大佐0店舗・神郷3店舗・哲多地区1店舗・哲西地区3店舗であると確認しています。今後の営業存続についての見通しにつきましては、人口減少や後継者不足などの要因により営業の存続が困難となる店舗が生じることが懸念される状況と考えております。

答 公共施設内に小売店のスペースを確保することにつきましては、事業者のニーズと一致するのであればスペースを提供することは、可能であると考えております。哲多本郷地域の方にお話を聞きましたが、本郷にお店がなくなつたことで、正田まで行けば済むと思いつたが、実際、なくなつてしまふと本当に不便だと感じております。そういうご意見も頂いております。公共施設を利用した事例を紹介します。



議会の情報

横見バス停は、待つのにエアコンもなく、トイレもない場所でした。文教福祉常任委員会で同僚議員と共に、乗合タクシーや「ら・くるつと」を待つのに、環境の整った場所で待つて頂けるよう要望してまいりました。その結果、上市市民センターで乗れるようになりました。